社会実装を目的とした3学科合同プロジェクトのマネジメント

背景

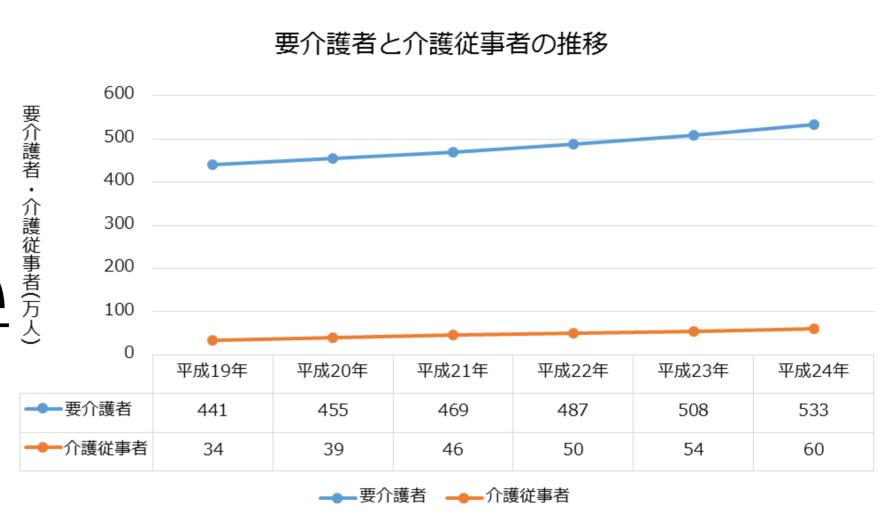
少子高齢化が進行する日本

→年々増加する介護の需要

しかし

厳しい労働環境のため,<u>離職率は高い</u>介護職員は増えているものの, それ以上に需要の増加率が高い

PMコース 矢吹研究室 1442069 須山 武弘



厚生労働省HPよりデータ抜粋

目的

SI-LAB(Society Implementation Laboratory)の活動を通して

技術で介護現場を支える製品開発

PMとの関連

各学科の専門知識を活かしたプロジェクトマネジメントが必要.

方法

プロジェクトを以下のように遂行した.

7月~9月・・・チーム編成, 現地調査

9月~10月・・CVG応募書類の作成. ビジネスプランの作成

11月・・・・ CVG東京予選のプレゼン

12月~1月・・試作品の作成,機構等の検討

1月~2月・・・試作品の作成,介護関係者へ向けてのプレゼン

進 捗

多数の介護施設へのヒヤリングを行ない, ブレストやKJ法を使い, "CHOICE"を提案. 人的資源管理, スケジュール管理などを行った.



今後の計画

トイレ介助機器「CHOIC」の提案

- ・製品の試作,検証
- ・プロジェクト終結フェーズへ向けてまとめをする